平式士	実行	委員会		取組内容
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
神奈川県	【行政】 ・スポーツ局スポーツ課 ・教育局は第一ツ局スポーツ課 ・市時期連連・市場会、町村路協議 ・市興連会) 【スポーツ所等がは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一ので	2回目 1月16日 【検討事項】 ①地域が抱える課題(障害者スポーツに対する認識、活動する場及びコミュニティの不足、指導者の育成、健常者との連係)解決の方向性や効果的名取組についての検討 ②地域で「かながわパラスポーツ」を実践する人材「かながわパラスポーツ」を実践する人材「かながわパラスポープープの養成のあり方、手引の検討。	パラスポーツコーディネーターガイド ブック」の作成 「かながわパラスポーツコーディネー ター」活用の試行(地域での「かなが	「かながわパラスポーツコーディネーター養成会」の実施及び「かなパラコーディネーター」向けの「手引」 3月を作成(200部) <実施時期・回数>①養成会 11月~1月(3回) ②手引 3月(完成) <実施内容> ①「かながわパラスポーツ」普及・推進のため、地域での実践を担う人材「かながわパラスポーツコーディネーター」を養成する研修会(3回)を実施し、51人(スポーツ推進委員、障がい者スポーツ指導員等)の「かながわパラスポーツコーディネーター」を養成した。 ②「かながわパラスポーツ」の自主的な取組を企画・運営するための手引を作成し、市町村等へ配布し、「かながわパラスポーツ」への理解を深めた。 <対象者>地域での実践を担う人 <委託先団体>桐蔭横浜大学

亚式士	実行	委員会	取組内容	
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
新潟県	【行政】福祉課 課 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報 報		・パラ競技の体験 ・パラリンピック出場者を招いた講演	○十日町地域における普及 【概要】 総合型地域スポーツクラブを拠点に、行政、スポーツ推進員、障がい者福祉サービス事業所、特別支援 学校、障がい者スポーツ指導員等が連携し理解促進講座及びスポーツ教室を実施する。 〈実施内容・実施回数〉 関係者会議:平成28年7月、2月(2回) 理解促進講座:平成28年9月へ11月(4回) 〈実施種目〉 フライングディスク、ボッチャ、ポールウォーキング、車いすバスケ体験等 〈今後の予定〉 H29年度も、巡回スポーツ教室や体力測定などを実施する予定 ○村上地域における普及 【概要】 総合型地域スポーツクラブを拠点に、行政、リハビリテーション大学、スポーツ推進員、特別支援学校、障がい者スポーツ指導員等が連携し理解促進講座及びスポーツ教室を実施する。 〈実施内容・実施回数〉 関係者会議:平成28年7月、2月(2回) 理解促進講座:平成28年7月、2月(2回) 理解促進講座:平成28年7月、2月(2回) 理解促進講座:平成28年7月、2月(4回) 〈実施種目〉 ポッチャ、カローリング、スポレックボール拾い等 〈今後の予定〉 次年度以降はボッチャの大会などを実施する予定 ○バラリンピック競技体験会 【概要】 2020年の東京パラリンピック開催に向け、障害者スポーツの理解促進を図るために、パラリンピック出場者による講演会やパラリンピック競技体験会等を実施する。 〈実施内容・実施回数〉 リオパラリンピック報告会&車いす実演、体験、講話:平成28年10月(1回) パラ競技体験会(卓球):平成28年10月~11月(2回)

実行	委員会	取組内容	
メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
【行政】 ・健康福祉部障害保健福祉課 ・教育委員会スポーツ健康課	<実施時期> 1回目 11月22日 2回目 3月14日	・車椅子バスケットボール体験教室	【概要】 県内唯一の車椅子バスケットボールクラブであるJamaney石川にご協力いただき、県として初めての車 椅子バスケットボール体験教室を開催し、日常的に車椅子を使用している脊髄損傷のある高校生や下肢 障害があり歩行に杖を要する方など22名の参加があった。 〈実施時期・回数〉 平成29年1月22日 1回
いしかわクラブゾーン			<対象者> 県内の回復期リハビリテーション病棟を有する病院や特別支援学校、開催市内の身体障害のある児童生徒の通学する全小中学校、福祉施設に開催案内をしたほか、年齢、性別、障害を問わず広く参加を募った。 <委託先団体> 石川県障害者スポーツ協会 <協力団体> 石川県車椅子バスケットボールクラブ Jamaney石川
・(一社)石川県サッカー協会 ・(一財)石川県レクリエーション協	③障害者スポーツの普及に向けた方		
 ・石川県障害者スポーツ協会 ・石川県障がい者スポーツ指導者協議会 ・石川県車椅子バスケットボールクラブ Jamaney石川 ・(社福)石川県視覚障害者協会グランドソフトボールクラブ 【福祉関係】 ・(社福)石川県身体障害者団体連 		・知的障害者サッカー体験教室	【概要】 石川県サッカー協会、いしかわ特別支援学校に協力いただき、県として初めて知的障害者サッカー体験教室を開催し、知的障害や聴覚障害のある方など延べ132名が参加した。 〈実施時期・回数〉 平成29年1月21日、2月25日 2回 〈対象者〉 特に若い障害者の参加を増やすため、特別支援学校長会に協力を依頼し、県内の特別支援学校児童生徒の参加を募った。また開催市近隣の特別支援学級のある小中学校や福祉施設のほか、年齢、性別、障害を問わず広く参加を募った。 〈委託先団体〉 石川県障害者スポーツ協会 〈協力団体〉 石川県サッカー協会
合会 ・石川県知的障害者福祉協会 ・石川県精神障害者家族会連合会 ・石川県特別支援学校長会 【有識者等】 ・(公財)日本障がい者スポーツ協会		・グランドソフトボール体験教室	【概要】 県内唯一のグランドソフトボールチームである石川県視覚障害者協会グランドソフトボールクラブの協力を得て、県として初めてとなるグランドソフトボール体験教室を開催し、視覚障害のある方や福祉施設職員など61名の参加があった。 〈実施時期・回数〉 平成29年3月4日 1回 〈対象者〉 石川県視覚障害者協会の協力により、全会員に参加の募集案内をした。また、盲学校には在校生・卒業生への参加の呼びかけにご協力いただいた。そのほか、年齢、性別、障害を問わず広〈参加を募った。 〈委託先団体〉 石川県障害者スポーツ協会 〈協力団体〉 石川県視覚障害者協会グランドソフトボールクラブ
	メンバー 【行政】 ・健康福祉部 ・教のでは、一学のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	【行政】 ・健康福祉部障害保健福祉課 ・教育委員会スポーツ健康課 【スポーツ関係】 ・(公財) 石川県体育協会 ・石川県クラブ連絡協議会 ・(一社) 石川県サッカー協会 ・(一財) 石川県レクリエーション協会 ・(一財) 石川県レクリエーション協会 ・(一財) 石川県レクリエーション協会 ・石川県障害者スポーツ協会 ・石川県障害者スポーツ協会 ・石川県障害者スポーツ協会 ・石川県障がい者スポーツ指導者協議会 ・石川県障がい者スポーツ指導者協議会 ・石川県東椅子バスケットボールクラブ Jamaney石川 ・(社福) 石川県視覚障害者協会グランドソフトボールクラブ 【福祉関係】 ・(社福) 石川県身体障害者協会グランドソフトボールクラブ 【福祉関係】 ・(社福) 石川県身体障害者団体連合会 ・石川県知的障害者福祉協会 ・石川県精神障害者家族会連合会 ・石川県特別支援学校長会 【有識者等】 ・(公財) 日本障がい者スポーツ協	「行政

프 국 #	実行	委員会		取組内容
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
	【行政】・競技スポーツ課・障害福祉課【スポーツ関係】・体育協会・スポーツ推進連絡協議会【障害者スポーツ関係】・障害者スポーツ協会	<実施時期> 12月1日 【検討事項】 県の既存及び来年度以降実施予定 事業を有機的に実施していくための 実施方法や効果についての検討。	事業	○障がい者アスリート発掘教室開催事業 【概要】 2020年東京パラリンピックを見据え、また、県全体の障がい者スポーツ人口の拡大を図るため、以下の競技を中心としたスポーツ教室を実施する。教室では、障がい者に限らず、健常者を交えた教室とするなど、障がい者スポーツに対する一般県民の認知度や理解を促進し、競技の普及をはじめとした障がい者スポーツのますますの機運の醸成を図る取組みも実施。 〈実施競技〉(3競技):ボッチャ、ゴールボール、車いすテニス 〈実施時期・回数〉平成28年12月10日(ゴールボール、ボッチャ) 平成29年1月14日(車いすテニス)
	【福祉関係】 ・手をつなぐ育成会 【有識者等】 ・大学関係者 ・医療関係者			○障がい者スポーツ指導者養成事業 【概要】 県における障がい者スポーツを支える障がい者スポーツ指導員の養成講習会を実施。地域のスポーツ 推進委員や総合型地域スポーツクラブの指導者などに対して積極的な参加を促し、県内の障がい者ス ポーツ振興の体制を構築する。
岐阜県	· 区原因怀伯			<実施内容> <実施内容 障がい者スポーツ指導員を希望する一般県民を対象とした障がい者スポーツ指導員の養成講習会の実施。平成29年2月11日、12日、18日で計1回実施。(44人/年)
			催事業	○障がい者スポーツフェスティバル開催事業 【概要】 2020年東京パラリンピックを見据え、また、県全体の障がい者スポーツ人口の拡大を図るため、パラリンピックや全国障害者スポーツ大会の競技を中心とした障がい者スポーツを体験できる障がい者スポーツフェスティバルを開催する。このフェスティバルは、障がいのあるなしに関わらず、障がい者スポーツに触れる機会とし、障がい者スポーツに対する一般県民の認知度や理解を促進し、競技の普及をはじめとした障がい者スポーツのますますの機運の醸成を図る。また、障がい者スポーツに日頃関わりの少ない県民やスポーツ関係者等を対象に障がい者スポーツに触れる機会を提供し、障がい者スポーツの理解促進に関する義足の装着体験や体力測定等を実施する。
				<実施競技・回数> 平成29年1月14日 <実施内容> ・車椅子バスケ、ゴールボール、ボッチャ、卓球(STT含む)、フライングディスク等の体験教室 ・競技用車いすの試乗、義足装着体験 ・スポーツカイロプラクティック、体力測定・相談など

₩ ₩	実行	委員会		取組内容
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
滋賀県	【行政】 (事務局として) 滋賀県県民生活部スポーツ局 【スポーツ関係】 ・滋賀県スポーツ推進委員協議会 ・(公財)滋賀県体育協会 ・総合型地域スポーツクラブ地域連 絡協議会	<実施時期> 1回目 平成28年9月6日 2回目 平成28年12月21日 3回目 平成29年2月27日 【検討事項】 ①実践クラブの進捗状況 ②課題整理 ③障害者スポーツガイドブック作成	①実践クラブの進捗状況 ・実践するだけではなく、活動をフォローアップできる団体が関与していること。 ・大学と連携して学生目線でボランティア実践の課題を掘り起こしたこと。 ②課題整理 ・地域の関係者との結びつきをどのように強化していくのか。	●障害者スポーツ新規・総続実践事業 【概要】 ・障害のある人が身近な地域で継続的にスポーツに親しめる環境を整備することを目的に、総合型地域スポーツクラブを地域の核として位置付け、新規4クラブ、H27年度からの継続3クラブ、計7クラブで取組を実施たた。 < 実施時期・回数・新規実践クラブ・9/21~ 月1回 《実施内容〉福祉事業所と連携したスポーツ教室の継続開催 会員向け既存事業を障害者も含めて開催 〈対象者〉 地域の障害者、クラブ会員 〈要託先団体〉 県内総合型地域スポーツクラブ7クラブ ●障害者スポーツ支援事業 【概要】 ・経験の乏しいクラブをフォローを目的として、先駆的に取り組んでいる総合型地域スポーツクラブに委託した。 〈実施時期〉8/1~ 〈実践内容〉研修会 助言指導 〈対象者〉障害者スポーツを実践する総合型地域スポーツクラブ ●障害者スポーツを支えるポランティアの課題整理を目的として、大学に委託し、学生を実践現場に派遣した。 〈実施内容〉ボウンティア育成事業 【概要】 ・健善者スポーツを支えるポランティアの課題整理を目的として、大学に委託し、学生を実践現場に派遣した。 〈実施時期〉7/28~ 13回 延べ36名 〈実施内容〉ボウンティアを依頼する側、される側の課題の掘り起こしを目的として、大学生が実践クラブ 〈委託団体〉びわこ成蹊スポーツ大学 ●課題整理 【概要】 ・実践クラブや大学からの報告を基に、実行委員会で主な意見を集約した。(以下)・地域の障害者ニーズの把握が難しい・効果的な周知方法が見つからない・より高い専門性(発達等率への対応)が必要・福祉関係団体との連携のきっかけがない・ボランティアの活用が難しい・カランティアの活用が難しい・ホランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が難しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用が強しい・ボランティアの活用がありためでは、ボランティアの活用がありますない。

亚红李	実行	委員会	取組内容	
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
大阪府	置。 以下、部会構成 (公財)大阪体育協会事務局長 (公財)大阪府レクリエーション協会事務 局長 大阪府障がい者スポーツ協会事務局 長 大阪障害者スポーツ指導者協議会会 長 ロント、ンハ [°] ラリンピック陸上銅メタブリスト	<実施時期> 2月22日(水) 【検討事項】 ①大阪府の障がい者スポーツの競技力の向上を含めた障がい者スポーツの普及策への指導助言や東京オリンピック・パラリンピックに向けた大阪府の取り組みに対する指導助言 ②下記実践研究の進行管理及び事業成果の検証と、障がい者スポーツの普及促進プログラムへの指導助言	 ・府民イベントにおけるトップアスリート座談会および体験教室 ・トップアスリートによる障がい者スポーツ教室 ・府民イベント等における障がい者スポーツ教室 	 ○府民イベントにおけるトップアスリート座談会及び障がい者スポーツ体験 【概要】 ・アスリートとの座談会および車いすテニスや風船バレーによる交流 ・府内の障がい者スポーツ施設の紹介 ・ウィルチェアーラグビーデモンストレーション ・アンプティサッカー、車いすバスケット、車いすテニス、ボッチャ体験 <実施時期>11月13日(日) <回数>1回 ≪委託団体》 NPO法人 パラキャン ○小・中学校におけるトップアスリート障がい者スポーツ教室 【概要】
		・府立学校(支援学校含む)にお ける障がい者スポーツ教室	 ○府立学校(支援学校を含む)における障がい者スポーツ教室 【概要】 ・教職員を対象とした障がい者スポーツの講演および実技体験 ・府立学校生徒及び教員を対象とした障がい者スポーツ教室 〈実施時期>8月3日(水)、11月18日(金) 〈回数>2回 《委託団体》大阪府障がい者スポーツ協会 	
			・府民イベントや府民を対象とし た障がい者スポーツ・レクリ エーション教室	 ○府民イベントや府民を対象とした障がい者スポーツ・レクリエーション教室 【概要】 ・府民を対象とした障がい者スポーツ・レクリエーション教室 〈実施時期〉10月29日(土)、11月3日(木)、12月4日(日)、1月21日(土)、1月22日(日) 〈回数〉5回 《委託団体》(公財)大阪府レクリエーション協会

-π +ν	実行	委員会		取組内容
受託者	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
	【行政】 - 障がい福祉課 - 県民スポーツ課 - 特別支援教育課 - 体育学校安全課	い福祉課 スポーツ課 支援教育課 学校安全課 ジ関係】 『総合型地域スポーツクラ 格協議会 『スポーツ振興財団 コロ目 8月19日 2回目 12月16日 3回目 2月24日 4回目 3月16日 『検討事項』 ①スポーツ関係者、障がい福祉関係 者等が、各地域で連携、協働し、障がい者スポーツの普及啓発等方策を	・児童生徒の障がい特性に応じたスポーツ種目を活用した地域交流事業	〇特別支援学校における実践研究~児童生徒の障がい特性に応じたスポーツ種目を活用した地域交流事業~ 【概要】特別支援学校の生徒の障がい特性に合った「ニュースポーツ」の実践及び交流 〈日時〉平成28年9月~平成29年2月、〈場所〉県東部及び県西部の2校(計3校) 〈対象者〉特別支援学校に通う児童・生徒、県内中・高・大学生、地域のクラブメンバー等 延583名
	【スポーツ関係】 ・徳島県総合型地域スポーツクラ ブ連絡協議会 ・徳島県スポーツ振興財団 ・徳島県障がい者スポーツ協会		あい体験会	〇障がい者トップアスリートとのふれあい体験会 【概要】車椅子バスケットボールミニ試合及び体験会の開催 <日時>平成29年3月12日、<対象者>障がい者、一般県民又は児童・生徒 計95名
	【福祉関係】 ・徳島県身体障害者連合会 ・徳島県手をつなぐ育成会 【有識者等】 ・徳島文理大学	②障がい者スポーツの普及啓発の 方策等を検討し、その一環として、実 践研究の進行管理、事業成果の検 証等を行い、障がい者スポーツの普 及促進プログラムをまとめる。	ツ教室・ボッチャ競技普及員講習会)	○重度障がい者も含め誰もが参加できる「ボッチャ」競技の普及促進事業 ・出張スポーツ教室 【概要】地域での障がい者スポーツの普及を図るとともに、参加しやすい環境づくりを目指す <日時>平成28年9月~平成29年2月、県央・県西・県南の3地域において、計18回実施 <対象者>障がい者、家族、施設職員等 延515名 ・ボッチャ競技普及員講習会 【概要】レクリエーション・ボッチャ大会の開催を見据え、指導者、介助者等の養成を目指す
	·徳島大学大学院		特別支援学校での選手育成事業	<日時>平成28年10月、12月、計2回実施、<対象者>障がい者スポーツ指導員等 延39名 ○特別支援学校での選手育成事業 ・トレーナー等の派遣
徳島県				【概要】特別支援学校のクラブ活動等へトレーナーを派遣し指導を行う <日時>平成28年9月~平成29年2月、特別支援学校2校において、計16回実施,延243名参加 <内容>団体競技競技力向上、基本的運動能力向上 <指導者>トレーナー、理学療法士、作業療法士等 ・スポーツ総合体力診断 【概要】体力診断等データを集積し医学的サポートを行い、健康管理やトレーニング等の検証を行う <日時>平成28年8月、平成29年2月、計2回実施(2月は交流試合も実施),延31名参加
			・共生共楽スポーツ推進事業	〇共生共楽スポーツ推進事業 - 共通研修会の開催 【概要】障がい者スポーツ推進の全国事例やイベント実施上の留意事項等について研修を行う <日時>平成28年8月23日 <対象者>総合型スポーツクラブ、障がい者スポーツ協会、スポーツ推進委員、県レクリエーション協会等35名 - 障がい者と共に楽しむスポーツ教室の開催 【概要】健常者と共に楽しむ教室及び大会、また、参加者の障がい特性に合ったスポーツ教室を開催 <日時>平成28年9月~平成29年2月、県内3クラブにおいて、計59回実施 <対象者>障がい者を含む地域住民及び障がい者施設団体等延1,764名 - 普及啓発のための広報活動 - その他(①障がい者スポーツ関連事業の周知②障がい者スポーツの普及啓発)
			•持久水泳普及事業	○持久水泳普及事業 ・普及促進基礎事業「ふれあいスイミング」 【概要】水泳の基礎を学ぶレッスンを実施、継続的に水泳を楽しむきっかけづくりの場を提供する 〈定員〉障がいのある4才から高校生とその保護者101名、〈開催回数〉2会場/各6回/年 ・普及促進支援事業「持久水泳認定会」 【概要】基礎事業の努力目標・事業効果の確認のため、普及促進事業として認定会を実施する 〈開催日〉平成28年11月23日, 延66名参加

受託者	実行氢	委員会	取組内容	
文 託石	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
高知県	「行政】 ・県教育委員会事務局スポーツ健康教育課 ・地域福祉部障害保健福祉課 【スポーツ関係】 ・総合型地域スポーツクラブ(2クラブ) ・県レクリエーション協会 ・県スポーツ推進委員連絡協議会 【障害者スポーツ関係】 ・県障害者スポーツ指導者協議会 【特別支援学校】 ・(2校) 【有識者等】 ・高知大学	(実施時期> 1回目 7月27日 2回目 11月15日 3回目 3月16日 (検討事項) (サインのでは、10分割をでは、10分割をできます。 1分割を 1分割を 1分割を 1分割を 1分割を 1分割を 1分割を 1分割を	○ 大会づくり ・陸上競技関係者だけでなくスポーツ 推進委員等が連携して運営する大会・多様な障害種別の選手が、一緒に 競う競技会 ○ 総合型地域スポーツクラブが中心 となり各スポーツ関係者と特別支援 学校の連携を図る ・教員と外部指導者の連携による運動部活動の質的向上 ・継続的な活動につながる運動プロ グラムづくり	●情報交換会:2回 幡多地区の障害者スポーツの現状の情報交換、大会への参加・協力を含めた連
			や保護者、地域住民などが参加できるスポーツ活動を行う ・同窓会や登校日の活用 ・卒業生や地域住民が参加しやすいプログラムの検討、運営 ・総合型地域スポーツクラブや社会福祉協議会が実施している既存のスポーツ活動への参加につながる取組・学校の休日や長期休業中の施設有効活用	

受託者	実行	委員会	取組内容	
文託名 	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
	・県特別支援学校校長会 【スポーツ関係】 ・県体育協会 ・スポーツ科学情報センター ・スポーツ推進委員協議会 ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	<実施時期> 1回目 12月5日 2回目 2月26日 【検討事項】 ①身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくり ②各団体間の連携方策 ③アスリート育成指導	クリエーション活動の実践】	 ○障がい者スポーツ・レクリエーション活動基盤づくり事業 【概要】 県内7地区すべてにおいて、総合型地域スポーツクラブによる域内における障がい者スポーツ・レクリエーション活動を実施する。 <実施クラブ数>17クラブ <実施内期・回数>平成28年7月~平成29年3月、17クラブ合計104回 <実施内容>アダプテッドスポーツ、車いすバドミントン、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、卓球バレー、ふうせんバレー、ボッチャ、車いすテニス、フットサル、デフサッカー、ウォーキング等 <対象者>地域住民(障がいのある方が参加すること) <参加人数>延べ4,292名 <障がい区分>身体、知的、精神
福岡県	【障害者スポーツ関係】 ・県障がい者スポーツ協会 ・福岡市障がい者スポーツ協会 ・北九州市障害者スポーツ協会 【福祉関係】 ・県レクリエーション協会 ・県社会福祉協議会 【有識者等】 ・スポーツ庁健康スポーツ課障害 者スポーツ振興室		【初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施】	○総合型地域スポーツクラブを対象とした初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施 【概要】 県内76の総合型地域スポーツクラブを対象として、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施 し、障がいについての理解、安全管理、スポーツの工夫等について、理論及び実技を通して理解を深め、 資格取得を推進する。 〈実施時期〉平成28年12月3・4・10日 〈対象者〉県内総合型地域スポーツクラブに所属または携わり、将来にわたって障がい者スポーツ活動 の振興に貢献する意欲のある者 〈受講人数〉16名
	・立教大学教授		【事業後の協議会、アンケートの実施】	○事業後の協議会、アンケートの実施 【概要】 事業を実施しての反省点や今後の改善点について、実施クラブ指導者と協議。事後アンケートによる全体像の把握。 〈実施時期・回数〉平成29年3月、地区ごとに実施1回 〈対象者〉実施クラブスタッフ 〈内容〉アンケート 事業を実施しての感想、工夫した点、事業を継続していくために必要なこと、障がいのある人がクラブ会員として活動することについて等

受託者	実行	委員会		取組内容
文託名	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
佐賀県	レクリエーション協会 【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ指導者協議会 障がい者スポーツ協会 【有識者等】 大学	く実施時期> 1回目 9月30日 2回目 1月25日 【検討事項】 ①「スポーツ交流会」の企画 ②総合型地域スポーツクラブとの関わり ③障害者スポーツ普及のネットワークづくり ④「スポーツ交流会」の振り返りと課題 ⑤障害者スポーツに関わる人の指導者資格 ⑥障害者スポーツの広報及びその方法	・スポーツを流会の開催・スポーツ推進委員等への障害者スポーツ普及啓発	【概要】 日ごろスポーツにあまり親しんでいない障害者がスポーツを体験し、スポーツを行うきっかけになることを目的とし、スポーツ交流会を開催。また、広く市民に障害者スポーツ活動に触れる場を提供するため、福祉施設に出前教室を行う。 〇スポーツ交流会 〈実施日>10月22日 〈実施種目〉ボッチャ、卓球バレー、スポーツ吹矢 〈参加人数〉障害者、学生、スポーツ推進委員等 257人 〇出前教室 〈実施時期>10月~2月 〈実施回数>6回 〈実施種目〉卓球バレー、バッゴー、室内ペタンク、いごでだま等 〈参加人数〉障害者、学生、スポーツ推進委員等 257人 【概要】 「障害者スポーツ普及のためのネットワーク構築、障害者スポーツサポータの育成のため、スポーツ推進委員・市職員等に向けた種目研修会で障害者スポーツを取り上げ、障害者スポーツの普及啓発を行う。 〈実施時期>9月17日、11月20日 〈実施内容〉種目研修会(ボッチャ、卓球バレー、スカットボール、カローリング、パークゴルフ) 〈参加人数〉障害者、学生、スポーツ推進委員、市職員等 100人

受託者	実行委員会		取組内容	
文託有 	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
大分県	【行政】 ・大分県福祉保健部障害福祉課 ・大分県体育保健課 ・大分県特別支援教育課 ・大分県特別支援学校長会 【スポーツ関係】 ・大分県スポーツ指進委者協議会・大分県スポーツ推進委ネットン・大分県レクリエーション協会 【障害者スポーツ関係】・大分県障害者スポーツ関係】・大分県障害者スポーツ関係】・大分県に対する。・など 【福祉関係】・など 【福祉関係】・大分県社会福祉協議会 【オブザーバー】・日本レクリエーション協会	(実施時期〉 1回目 平成28年6月28日(火) 2回目 平成29年2月21日(火) 【検討事項】 ①大分県における障がい者スポーツの普及・促進について ②健常者と障がい者のスポーツ組織の連携・共働体制の構築 ③実践研究の進行管理、、成果の検証 ④障がい者スポーツ普及促進方策の検討	障がい者スポーツ人材派遣事業障がい者スポーツ体験会	○障がい者スポーツ人材派遣事業 [概要] 障がい者スポーツの指導を希望する地域や団体等に、人材バンクに登録された指導者等を派遣し、 障がい者スポーツの普及・定着を図る。 <実施競技> 障がい者スポーツ全般 <実施時期・回数>平成28年6月 ~ 平成29年3月 52回 <対象者> 県内学校・施設等 <委託先団体> 大分県障がい者体育協会 ○障がい者スポーツ体験会 [概要] 支援学校におけるスポーツへの理解・普及及び 地域での障がい者スポーツの継続的な取り組みの促進を図る。 <実施時期・回数> 平成28年6月 ~ 平成29年3月 16回 <参加者数> 532名 <成果>特別支援学校では、実施回数が少ない地域の学校へ事業PRを行い連携を図ることで、障がい児・者のニーズに応じた障がい者スポーツ体験会を開催した。 また、体験会がきっかけとなり「第1回大分県特別支援学校高等部スポーツ大会(10月10日、大分銀行ドーム)」の開催支援につながり、支援学校におけるスポーツへの理解、普及を図ることができた。 自立支援協議会では、派遣指導員による競技ルールの周知を交えた体験会や、競技選手とふれあいながらの体験会など内容は様々であるが、障がい者スポーツの楽しさを体験してもらい、継続してスポーツに取り組むきっかけを作ることができた。
			子どもふれあい交流事業	○子どもふれあい交流事業 【概要】 障がい者スポーツの素晴らしさを子どもたちに知ってもらうため、車いすマラソン大会やパラリンピック に出場したトップアスリートを県内学校・施設等に派遣し、講習会や体験会を実施した。 〈実施競技〉 車いすマラソン・ボッチャ・水泳・陸上・卓球・ブラインドサッカー等 〈実施時期・回数〉 平成28年6月 ~ 平成29年2月 25回 〈参加者〉 1,491名 〈成果〉 障がい者への理解を深めることに主眼を置いた講演会や体験会を通して、楽しみながら障がい者スポーツを知ってもらうことができた。PTAと同時開催した学校もあり、生徒だけでなく保護者への理解促進も図ることができた。

受託者	実行委員会		取組内容	
文託伯	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
札幌市	 ・保健福祉局障がい保健福祉部・スポーツ局スポーツ部・スポーツ推進委員会 【スポーツ関係】・健康スポーツ財団・市体育協会 【障害者スポーツ関係】・障がい者スポーツ協会 【有識者等】・大学 	3回目 11月21日 4回目 1月27日 【検討事項】 札幌市の地域特性に応じた障がい 者スポーツの普及促進について		○「第2回 知ろう!やってみよう!パラスポーツ」 【概要】 障がいのある方もない方も、スポーツを通じて相互理解を深めるとともに、パラスポーツ(障がい者スポーツ)の楽しさや魅力を発信することを目的とした体験イベントを開催。複数のパラスポーツ競技の体験会、障がい者スポーツ選手、プロスポーツ選手とのパネルディスカッション、パラスポーツに関するパネル展示等、多様な企画を複合的に行った。 <実施競技>ブラインドサッカー、車いすバスケットボール、ボッチャ、フライングディスク、アンプティサッカー <実施時期・回数>8月11日・1回 <実施内容>パラスポーツ体験、パネルディスカッション <対象者>どなたでも く委託内体>特定非営利活動法人セカンドサポート <参加者数>200名 ○「パラリンピック競技教室」 【概要】 車いすを利用している方を対象に、パラリンピック競技である車いすカーリングの体験会を開催。オリンピアンの小笠原 歩(北海道フォルティウス所属)選手を講師に招き、北海道カーリング協会、札幌カーリング協会とともに参加者への競技説明、競技体験を行った。 <実施競技>車いすカーリング く実施競技>車いすカーリング体験 く対象者>・ロいすを利用している方 く委託先団体>一般社団法人 札幌カーリング協会 <参加者数>29名

受託者	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
	【スポーツ関係】 ・市スポーツ協会 ・区スポーツ推進委員会 ・総合型スポーツクラブ 【障害者スポーツ関係】	<実施時期> 1回目 9月27日 2回目 12月12日 3回目 2月23日	かわさきオープンエアプロジェクト で害者サポーター	「わくがないからわくわくできる」をキャッチフレーズに総合型地域スポーツクラブを活用し、障害者、家族、地域の方々がつながるコミュニティの場として社会全体の成長を目指すプロジェクトを進めるため、HP・Facebook・子ども記者・絵本作成について検討を行った。 *オープンエア…遮るものが何もない、気持ちのいい空間。
	・市障害者スポーツ指導者協議会【福祉関係】・市身体障害者協会・チャレンジドサポートプロジェクト・区社会福祉協議会	【検討事項】 ①障害者理解啓発講習会のシステム構築 ②人材流通ネットワークの構築 ③地域の方のプログラム参加促進の仕組み作り ④情報伝達ならびに情報共有方法の研究開発		地域において障害当事者が気軽にスポーツや社会交流に参加できるように、活動の場や支援者を増やすため、「オープンエアメーカー養成講習会」を実施した。 *オープンエアーメーカー…障害の程度に向き合うのではなく、その人のやりたいことを一緒に創意工夫する人。 <実施回数>2回 <参加者数>25名
川崎市	【教育関係】		かわさきオープンエアリポーター(子ども記者)による理解啓発実践研究	初年度の調査研究の結果を踏まえ、子どもたちが記者役となり、障害者イベント等で障害のある方をはじめ様々な方にインタビュー取材を行い、それを基に記事を作成するなど自ら主体的に障害と関わることで理解啓発を進めるための実践研究。さらに、子ども記者が作成した記事をHP等に掲載し公開することで、広く理解啓発・広報周知を行った。2名の小学生に市役所にて公認記者任命式を行い、地域広報誌「タウンニュース」や「川崎経済新聞」等にその様子が掲載された。 <実施競技>市内障害者イベント <実施回数>6回
			地域交流促進に向けた実践研究	地域交流促進WGを中心に、4回のイベントを実施・参加し、障害のある方、ない方が協力しあうことでイベントを盛り上げ交流することで、障害理解啓発及び地域交流を促進した。また、市内の就労支援センターやグループホーム、関係団体法人等から障害当事者を紹介してもらい、イベントスタッフとして一緒にイベントを作り上げることで、地域交流の促進に貢献した。 〈実施回数>4回 〈参加者数>1,989名
			総合型スポーツクラブSELFの活動 プログラムとの連携	再委託先である地域総合型スポーツクラブSELFで実施している活動プログラムと連携することで、地域のスポーツ環境づくりの活きた実践研究の場として活用した。 * ハートクラブ…オープンエアメーカーによる楽しむ機会を一緒に作るプログラム。障がいの有無に関わらず、誰でも参加できる。 * スポーツ推進委員との連携の検討 <実施回数>41回 <参加者数>351名

受託者	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
神戸市	 ・保健福祉課・教育委員会 【スポーツ関係】・地域スポーツ協議会・競技経験者 【障害者スポーツ関係】・障害者スポーツ振興センター 【有識者等】・大ポーツ医療関係者・スポーツ医療関係者・スポーツ医療関係者・スポーツを持続を表する。 	<実施時期> 平成29年3月27日 【検討事項】 障害者スポーツの推進について	でででは、 を本ででは、 を本では、 を本ででは、 を本では、 を本で	○パラ・スポーツ王国HYOGO & KOBE"夢プロジェクト2016" 【概要】 市内全域で障害者スポーツに対する理解とに認知度を高め、障害者スポーツをしたくても環境等を理由にできなかった人や、障害があることでスポーツにふれることができなかった人が、障害者スポーツを知り、身近な場所で取り組めるような地域づくりに向けて、市の総合福祉ソーンである「しあわせの村」において、障害者スポーツの体験会の開催および、ペネル展示等による障害者スポーツの紹介を行う。 〈実施競技〉車いすパスケットボール・シッティングパレーボール・ゴールボール・陸上・ブラインドサッカー・パドミントン・卓球・アーチェリー・射撃・車いすテニス・フライングディスク・タンデムサイクリング・ボッチャ・ローンボウルズ、実施時期・回数>28年11月12日 〈実施内容〉障害者スポーツ(14種目)の体験会および障害者スポーツを紹介するパネル展示〈対象者〉来場者(市内・外、年齢、障害の有無を問わない)。参加人数1,378名。 〈委託先団体〉神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター ○知的障害者アイススケート体験教室 【概要】 現在障害者スポーツで実施のない冬季スポーツを実施することで、障害者のスポーツ参加の可能性を広げる。 〈実施時期・回数>29年3月25日 〈実施内容〉アイススケート 〈実施時期・回数>29年3月25日 〈実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容〉アイススケート 《実施内容》と中市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター ○障害者スポーツの地域展開事業"障害者スポーツを通して交流しよう" 【概要】 身近な地域での障害者スポーツを通じた地域交流と障害者スポーツに取り組める環境づくりを目的として、地域の体育館などで地域団体等が主体となるイベントを通じた働きかけを行う。 〈実施競技〉ビームライフル・パドミントン・ボッチャ 〈実施時期・回数>29年1月21日 〈実施内容〉地元企業の体育館において、区社協の主催のもと地元企業や中学校などが協力して行う障害者スポーツの体験会に協力する。 〈考託先団体〉神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター

受託者	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
堺市	 「行政】 ・障害施策所管課 【教育関係】 ・特別支援学校 【スポーツ関係】 ・スポーツ振興団体 【障害者スポーツ関係】 ・障害者スポーツセンター指定管理者 【福祉関係】 ・障害児・者施設部会 【有識者等】 ・大学関係者 	<実施時期> 1回目 2月9日 2回目 3月28日 【検討事項】 ①障害のある方が身近な地域でスポーツ活動を行う環境について ②今後の取組み(案)と課題について		○SAKAI ボッチャ大作戦 1st 【概要】 広〈市民に対する障害者スポーツの普及・拡大をめざし、障害のない方も対象とした障害者スポーツ体験会・障害のあるアスリートの講演会を実施した。また、実施に際しては、障害のある方々が身近な地域で運動やスポーツに親しむ環境整備のきっかけとなるよう、一般スポーツ施設を利用した。 <実施競技〉ボッチャ <実施競技〉ボッチャ <実施時期・回数〉平成29年2月19日(1回) <実施内容〉ボッチャ競技体験会・講演・交流試合 <委託先団体〉障害者スポーツセンター指定管理者 <協力団体〉障害者スポーツ競技団体・大学